

平成29年度 市民アンケート調査結果

市では、市政や市民生活について市民の皆さんの声を聴き、今後のまちづくりの方向性や課題を検討する上での基礎的な資料とするために、昨年5月、市民アンケート調査を実施しました。その中から、主な調査結果を紹介します。



市では、市民の皆さんの声をまちづくりに生かすため、無作為に抽出してアンケートをお願いすることがあります。結果は、計画の策定や施策の推進に活用しています。より良いまちづくりのために、ご協力をお願いします。

調査の概要

- 調査対象 18歳以上の市民3,000人
- 抽出方法 住民基本台帳を基に、地域別・年齢層別構成比による無作為抽出
- 調査項目 12項目44問
- 回答数 1,609人（回収率53.6%）

性別	人数（構成比）
男性	704人（43.8%）
女性	895人（55.6%）
無回答	10人（0.6%）

現在の満足度と今後の重要度について

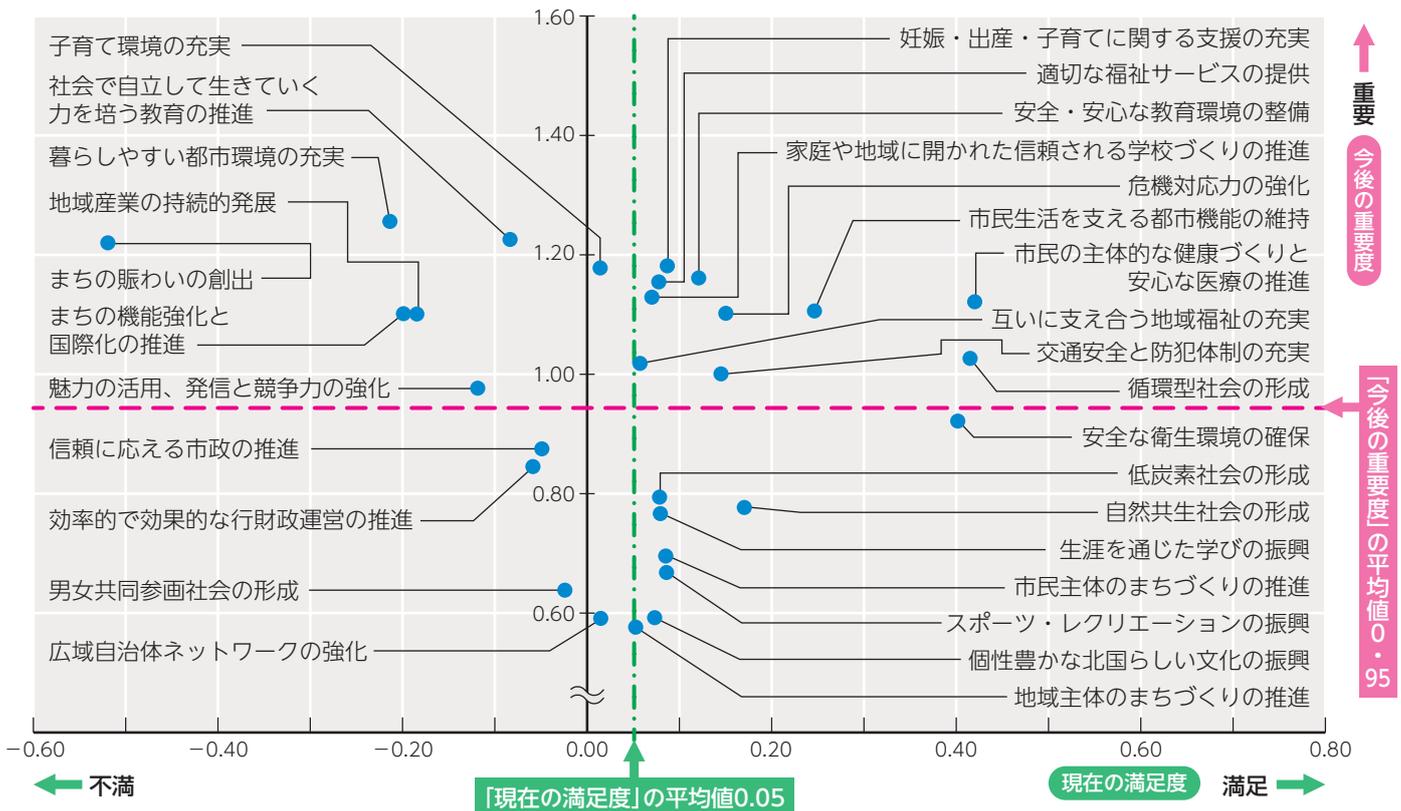
市では、まちづくりの指針となる第8次旭川市総合計画の中で、「世界にきらめく いきいき旭川」を目指す都市像に掲げ、それを実現するために29項目の施策を設定し、まちづくりに取り組んでいます。

今回の調査では、この施策について、現在の満足度と今後の重要度をそれぞれ5段階で評価してもらいました。下のグラフ①は、その評価をプラス2点〜マイナス2点で数値化し、その平均値を図にしたものです。縦軸が重要度、横軸が満足度を示し、暮らしやすい都市環境の充実、社会で自立して生きていく力を培う教育の推進、まちの賑わいの創出が重要だと考えられていることがわかります。

日ごろの暮らしについて

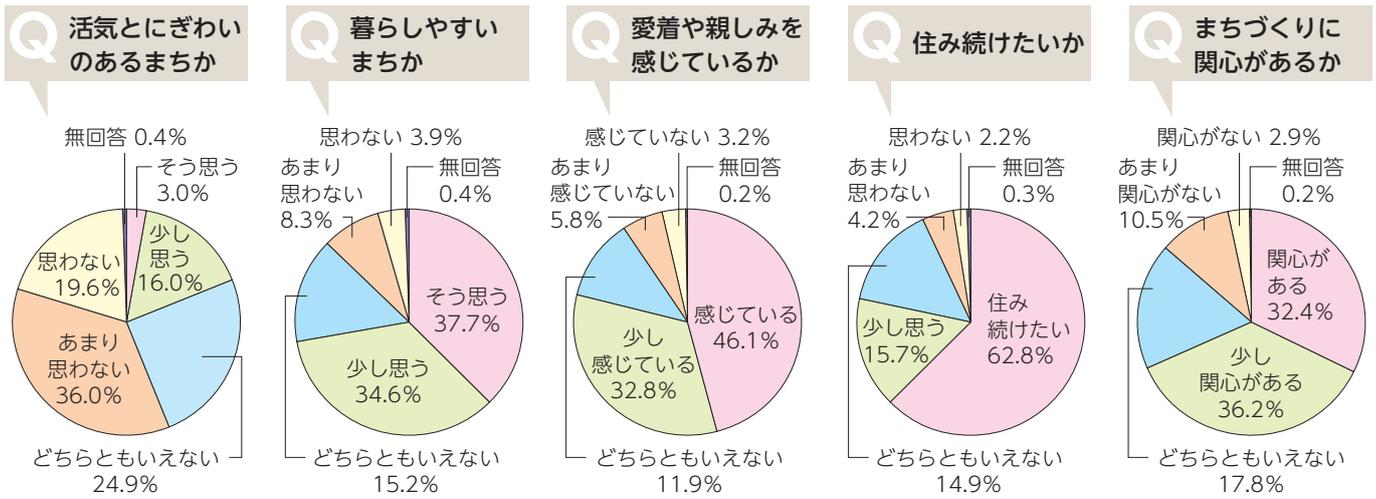
旭川での暮らしについてどのように感じているのか、「活気とに

グラフ① 暮らしに対する評価（現在の満足度と今後の重要度）



※グラフの百分率(%)は四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

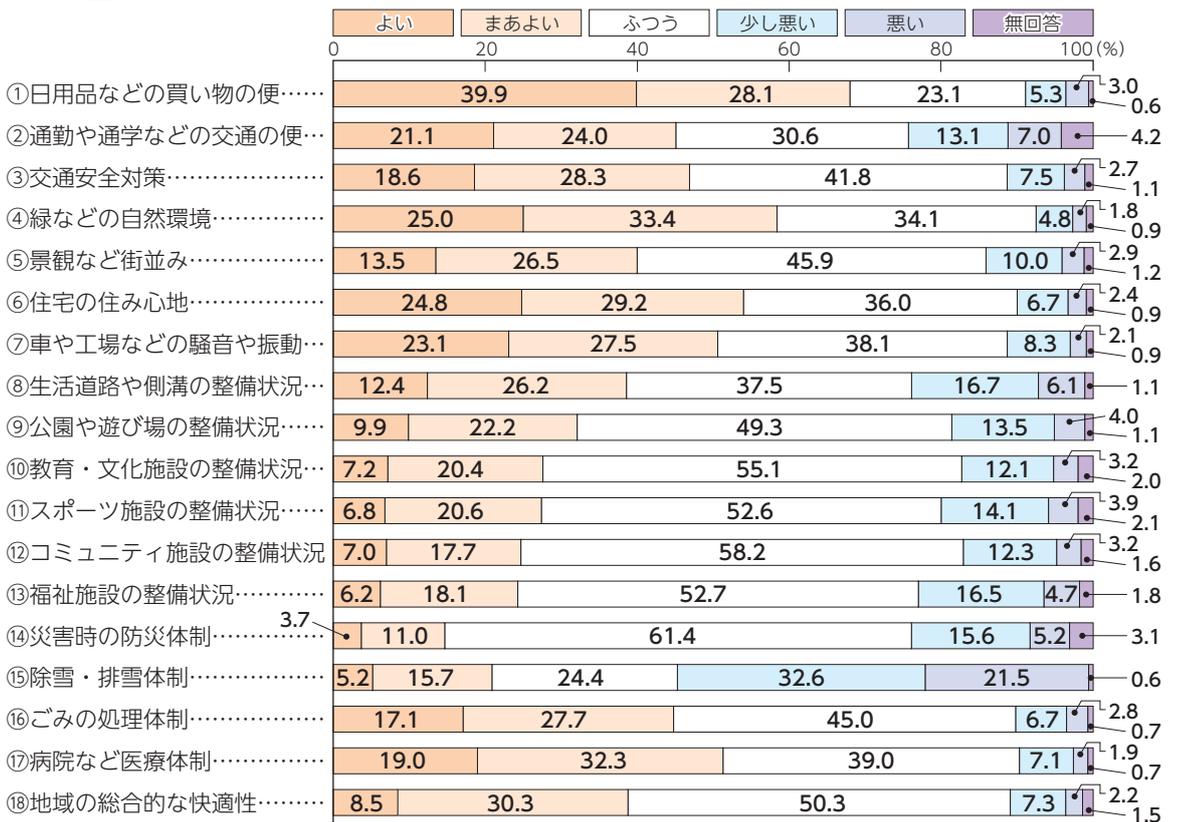
グラフ② 旭川に暮らしていて、日ごろ感じていること



生活環境について

旭川の施設や自然、利便性などの生活環境について、18項目を5段階で評価してもらいました。結果は、下のグラフ③のとおりです。評価が高かった項目は、①日用品などの買い物の便、④緑などの自然環境、⑥住宅の住み心地となっています。反対に最も評価が低かった項目は、⑮除雪・排雪体制でした。また、生活環境全体を評価する⑱地域の総合的な快適性では、「よい・まあよい」と答えた人が合わせて38・8%で、約半数の50・3%は「ふつう」と評価しています。

グラフ③ 生活環境について、日ごろ感じていること



市民アンケート調査の報告書は、市政情報コーナー（6の9）総合庁舎1階、各支所・公民館・図書館・住民センター・地区センター

【詳細】広報広聴課

市、市のホームページでもご覧になれます。

☎25・9100